

写真でみる令和8年熊本地震の支援状況

○8月1日 📷
熊本県へDMAT コーディネーションチームを派遣



医師、看護師などの専門チームが、患者の搬送調整等の業務にあたるため
出発（8/2～8/17活動）

○8月2日 📷
宇城市への派遣職員・第1班出発式



宇城市において罹災証明申請受付、避難所運営等を支援するため、県、
金沢市、七尾市、白山市の職員計6名が出発（8/3～活動）

○8月3日 📷
保健師等チーム第1班を派遣



保健師、管理栄養士などの専門チームが、宇城市等の避難所や在宅における被災者の健康管理業務にあたる（8/4～活動）

○8月5日 📷
生活用水資機材を提供



県とWOTA(株)との連携協定に基づき、水循環型手洗いスタンド19台（県5,七尾4,珠洲10）、水循環型シャワー機13台（県6,七尾4,珠洲3）を物資拠点に提供

○8月6日 📷

能登半島地震を経験した
生活環境部の職員を派遣



災害廃棄物を迅速に処理する体制整備支援のため派遣

○8月7日 📷

宇城市にて罹災証明書申請を受付



中部圏からの応援職員とともに、被災状況を丁寧に聞き取り

○8月8日 📷
宇城市への派遣・第2班へ業務を引継ぎ



○8月8日 📷
早朝、保健師等チーム第2班出発



○8月10日 📷

DPAT（精神医療）チーム派遣



精神科医、看護師などの専門チームが熊本県庁内でDPATの指揮・調整業務にあたる
(8/11～8/15活動)

○8月10日 📷

宇城市にて他自治体の派遣職員と打合せ



○8月10日 📷
罹災証明システム研修を受講



○8月10日 📷
宇城市にて罹災証明申請を受付



○8月11日 📷
応急仮設住宅建設に向けて活動



八代市での着工確認

○8月12日 📷
災害廃棄物処理について打合せ



氷川町において環境省と連携し、片付けごみ仮置場を確認

○8月12日 📷 宇土市に対し、
避難所で使用するテントを120張提供



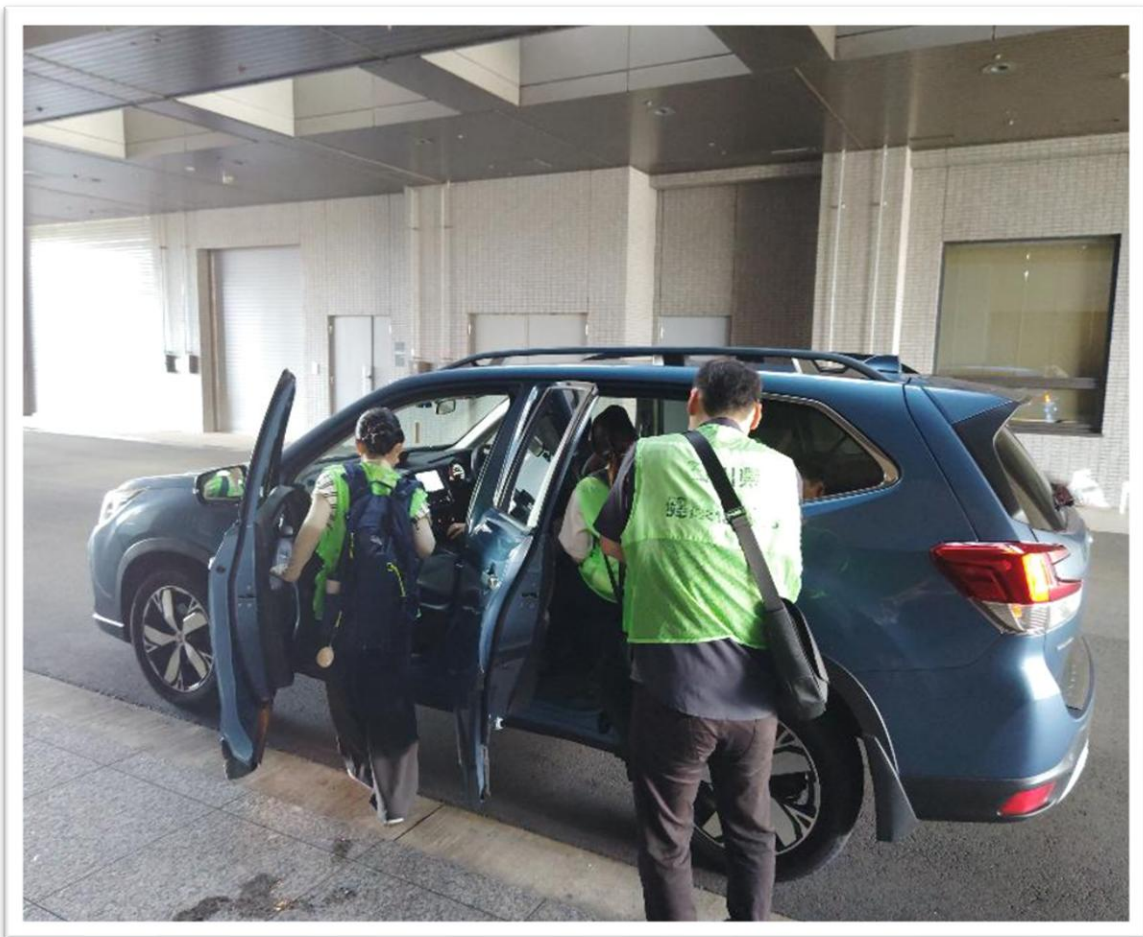
(8月11日設置)

○8月12日 📷
派遣職員・第1班らによる帰庁報告会



被災地での活動や被災地の様子を知事へ報告

○8月13日 📷
保健師等チーム・第3班出発



○8月13日 📷
保健師等チーム 避難所を訪問



○8月14日 📷
翌日からの避難所業務に備え引継ぎ



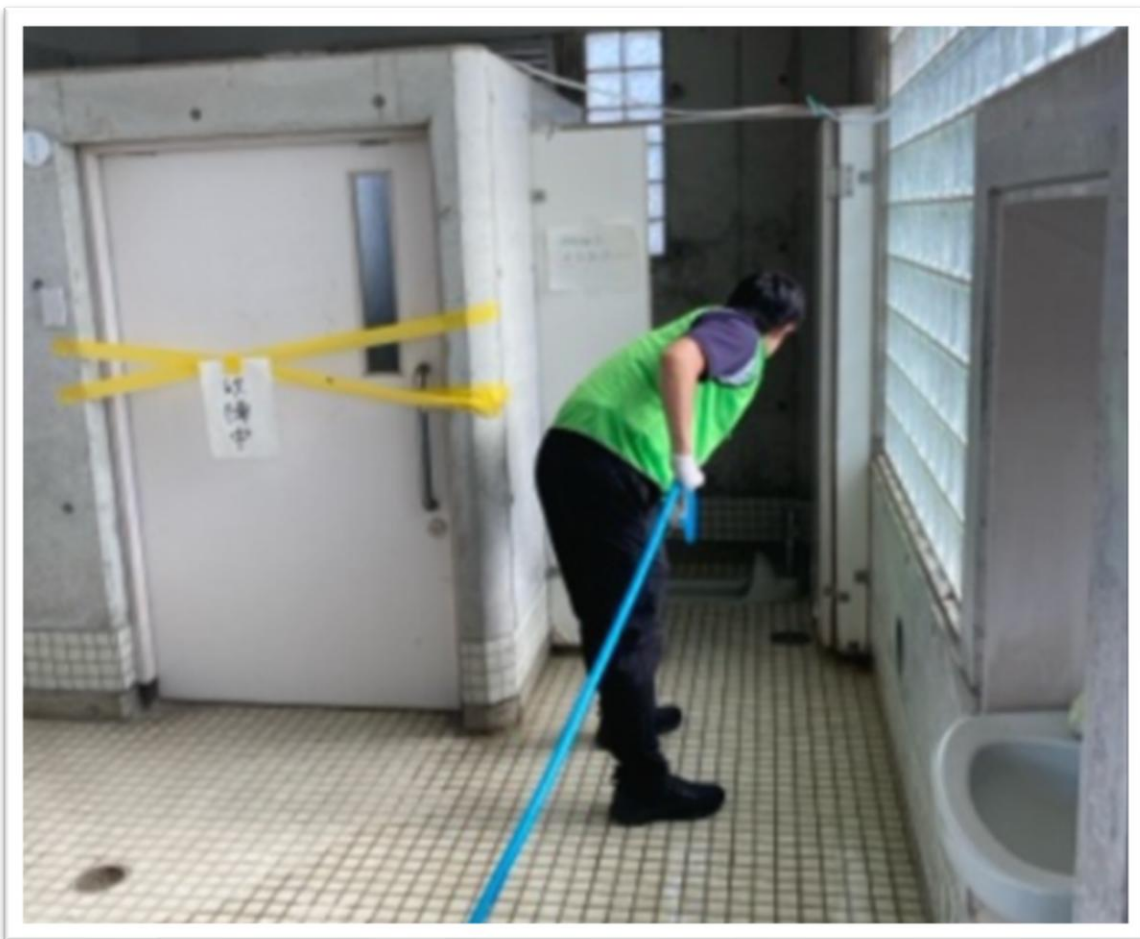
松橋東防災拠点センター（宇城市）にて富山県から引継ぎ

○8月14日 📷
応急仮設住宅建設に向けて活動



熊本県庁で岩手県、UR（都市再生機構）の皆さんと協力して任務にあたる
（8/10～活動）

○8月15日 📷
宇城市・松橋東防災拠点センターで活動



避難所の環境改善に取り組む

○8月18日 📷
応急仮設住宅建設に向けて活動



八代市で地縄検査を実施
(建物の予定位置が設計図どおりになっているか現地で確認)